日本気象学会
沖縄支部だより

発行：日本気象学会沖縄支部事務局
〒900-8517　那覇市樋川 1-15-15
那覇第一地方合同庁舎
沖縄気象台防災調査課内

2015 年度日本気象学会沖縄支部研究発表会

平成 28 年 3 月 9 日（水）午後、恩納村にある沖縄科学技術大学院大学（OIST）において、2015 年度の研究発表会を開催しました。今年度は昨年より 8 名多い 35 名の参加がありました。

研究発表会（座長：高橋 清和 理事）では、琉球大学から 6 題、沖縄気象台、県立球陽高校、情報通信研究機構沖縄電磁波技術センター、放送大学大学院文化科学研究科から各 1 題の計 10 題の発表があり、参加者で新たな知見が共有できたほか、さまざまな視点から活発な議論があり、充実した意見交換の場となりました。

発表された原稿は、以下の URL に掲載されています。 http://www.msjok.com/study/2015.pdf

開会あいさつ（概要）　：　横山 博文 支部長

日本気象学会沖縄支部は昭和 42 年に設立したときから沖縄気象台と合同で研究発表会を開催し、平成 21 年まで続けていたが、沖縄気象台の発表が

業務的な内容に移行してきたため、平成 22 年からは支部独自の発表会として開催している。ただし、お互いの研究発表会を聴講できるような形をとっているので、上手く情報交換しながらやっている。気象学会はジュニアセッションといった次の世代を育成する事業に力を入れているが、本日は琉球大学の学生や球陽高校の生徒が参加されており、非常に頼もしく思う。こういう若い人たちが気象学に興味を持ち、学問を発展させていくことが大事だと思う。今日は発表をとおして、お互いに議論し、知識を深めていただきたい。本日の発表会が研究を深める上で有意義なものとなって、気象学、沖縄支部がますます発展していくことを願う。

○研究発表会の模様

閉会のあいさつ（概要）　： 堤 純一郎 理事

素晴らしい研究を多数聞くことができて久しぶりに刺激を受けた。気象というのは原理解析から応用まで非常に幅広い分野なので、研究発表会は多くの人々が集まって意見を交換する良い機会になる。これからも多くの人が参加して頂けるよう育てていきたい。

○施設見学の模様

当日は研究発表会に先立ち、沖縄科学技術大学院大学施設見学会を実施しました。

報告：離島お天気教室

平成 27 年 10 月 9 日（金）に北大東村立北大東小中学校、10 月 16 日（金）に伊是名村立伊是名小学校、11 月 26 日（水）に与那国町立与那国小学校でお天気教室を実施しました。

○北大東小中学校

参加者：児童 37 名　生徒 24 名　教職員 20 名

学校が 11 月に津波避難訓練を控えていたことから、「地震・津波」をテーマにお天気教室を行いました。児童へは、DVD「津波から逃げる」を上映後、津波の性質や避難するときの心構えなどを解説しました。中学生には、沖縄周辺での地震発生状況及び地震や津波の発生メカニズム、「緊急地震速報」及び「津波警報等」を見聞きしたときの行動を確認してもらいました。

学習の後は、用意していた各実験装置に触れてもらいました。実験の最中は、児童･生徒に加え、教職員からの質問も多くあり、学校全体で楽しむことが出来ました。

中学生への講話

竜巻発生実験

大気圧実験

○伊是名小学校

参加者：学習時　5・6 年生 22 名、教職員 5 名
　　実験時　児童・園児約 70 名、教職員約 10 名

3 年振りの開催となった沖縄本島周辺離島でのお天気教室は、学校側から 5 年生の「天気の変化」の単元に沿うよう要望があり、5、6 年生を対象に行いました。雲の種類及び雲が発生するしくみや雨が降るしくみについて、アニメーションを用いて解説し、「衛星画像やレーダー画像、天気図を重ねた動画で、雲と雨雲の関係、及び雲と天気図と

の関係を確認しました。

雲の種類を学習

実験についても 5､6 年生を対象に行う予定でしたが､他の学年や幼稚園から参加の申し出があり、最終的にほぼ全校生徒を対象に行うことになりました。より多くの児童、園児へ実験を体験させることを優先させたことで、予定していたお天気クイズができませんでしたが、実験を行う児童、園児の真剣な顔や笑顔をたくさん見ることができました。

竜巻発生実験

圧気発火実験

熱気球実験

○与那国小学校

参加者：児童 50 名、教職員 10 名、父母等 10 名

お天気教室では、津波の授業と実験を行いました。DVD「津波からにげる」を上映し、その後に小学校教諭の進行で津波ハンドブックを用いた復習を行いました。また、効率的な避難を行うことを目的に簡易的に作成した祖納地区の防災マップを用い、津波等の災害からより早く垂直避難することが大事であることを確認しました。

防災マップを確認

実験は竜巻と大気圧、雲発生の各実験を３班に分かれて行いました。児童はそれぞれのブースで事前解説を受けたあと、手ほどきを受けながら実験を行い、目の前で起きる現象を学びました。

最後の熱気球の実験では、児童全員を中央に集

合させ、しくみを解説したあと気球を飛ばすと会場は大きな歓声で沸きました。

実験終了後、児童代表からは「今日は竜巻と大気圧、雲発生について楽しく学ぶことができました。また、熱気球のしくみも理解できたし、とても楽しかった」と感想をいただきました。

雲発生実験

大気圧実験

集合写真

報告：子ども気象学士教室

平成 27 年 8 月 10 日（月）～12 日（水）にかけて、「子ども気象学士教室」を開催しました。受講生の児童 17 名と保護者や兄弟を合わせた約 35 名の参加があり、開催期間中マスコミから多くの取材を受けました。

講義は親子で参加

3 日間の子ども気象学士教室では、最初の 2 日間で台風や大雨等の 5 つの講義と講義終了後は認定試験を行いました。最終日は、「本物の気象予報士のはなしを聞こう！」と題して琉球朝日放送の天気キャスター仲宗根さんからの講話、気象実験、そして緊張感漂う中での認定試験の結果発表、最後に子ども気象学士認定式を行い教室は終了しました。実験では、日本予報士会沖縄支部の協力のもと大盛況となりました。特に火山噴火実験での噴火を待つ児童らの笑顔が印象的でした。

火山噴火実験

認定式

報告：第 17 回非静力学数値モデルに関するワークショップ

平成 27 年 12 月 1 日（火）～2 日（水）にかけて、日本気象学会非静力学数値モデル研究連絡会、琉球大学が主催する「第 17 回非静力学数値モデルに関するワークショップ」が那覇第一地方合同庁舎で開催されました。沖縄支部は後援機関として協力を行いました。

ワークショップでは、様々な分野から計 33 題の口頭発表があり、最新の研究について幅広く議論が行われました。

事務局からのお知らせ

■「沖縄支部だより」への原稿募集

「沖縄支部だより」へ掲載する会員からの原稿を募集しています。

沖縄支部会員の活動報告、気象知識の普及活動の状況、沖縄の気象に関する事例解析・統計調査など情報交換に役立つ原稿であればどのようなものでも結構ですので、支部事務局までご投稿ください。会員各位の自由な投稿をお願いします。

■住所変更届のお願い

転居や転勤により登録情報に変更が生じた際には、次の方法で手続きを行ってください。

○ご本人による手続き（オンライン申請）

気象学会本部ページの「入会案内」ページ（以下 URL）にて登録情報の変更を行います。

http://www.metsoc.jp/about/join

【方法】気象学会本部ページの「入会案内」ページにおいて、「会員登録情報の変更」画面に入り、必要事項を記入の上、送信することで手続きは完了します。ご不明な点がありましたら事務局へお尋ねください。

■メールアドレス登録のお願い

支部だより発行、総会などの開催通知等は支部全会員に E-mail で配信しています。まだ登録されていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mail アドレスをご登録いただくようお願いします。

登録は、住所変更届と同様に「会員登録情報の変更」からのオンライン申請でお願いします。

■日本気象学会への入会案内

みなさまの周りに気象学を専攻している・気象関連の仕事をしている・気象に興味を持っているような方がいらっしゃいましたら、日本気象学会への入会をお勧めいただくようお願いします。支部事務局へご連絡いただければ、入会方法などご案内します。

連絡先：日本気象学会沖縄支部事務局
TEL：098-833-2186、FAX：098-836-8081